

7月は「バス車内事故防止強化月間」です

～新型コロナウイルス感染拡大防止の取組と併せ、車内事故防止の取組にご協力を～

7月は「バス車内事故防止強化月間」です

バスの車内事故については、依然として乗客が重傷となる重大事故が発生しており(別紙1)、これを未然に防止するため、中部運輸局では各県バス協会が実施する車内事故防止キャンペーン期間に合わせて、毎年7月を「バス車内事故防止強化月間」に定め、以下の取組を中心に、バス事業者、バス利用者及び一般のドライバーに広く働きかけ、バスの車内事故の撲滅に向け取組を推進しています(別紙2)。

1. バス事業者に対する車内事故防止対策の徹底の要請
各県バス協会を通じ、取組みの徹底を要請
2. バス利用者及び一般ドライバーへの啓発
 - ①各県に所在する競技場等の大規模公共施設の電光掲示板へのポスターの掲出依頼
 - ②各自治体の広報等への掲載依頼

[車内事故防止と新型コロナウイルス感染防止との関連について]

バスに乗車の際は、車内事故防止のため手すり・つり革等を適切に利用していただかなくてはなりません。

現在、新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、バス事業者各社とも運行前後にバス車内の消毒を行っているところですが、運行中も消毒された状態を維持することは現実的に困難です。

利用者みなさまにあっては、これらの状況をご理解いただき、手すり・つり革等を適切に利用していただくとともに、降車後の手洗いを実践していただくようご協力をお願いします。

なお、バス事業者各社において、消毒のほかにも換気装置の常時作動・窓開け等、利用者みなさまに安全・安心に乗車していただけるよう様々な対策を講じております(別紙3)。

車内事故に関する統計

本統計は中部運輸局管内で報告のあった自動車事故報告書からバスの車内事故に関する件数等を抽出したものです。

1. 発生件数（年推移）

発生年（暦年）	H26	H27	H28	H29	H30	R1
バス車内事故発生件数(件)	82	77	52	50	64	59
うち他車に起因（件）	25	24	14	10	19	16
構成比（%）	30.5	31.2	26.9	20.0	29.7	27.1

- ◆ 発生件数は他車に起因する事故件数も含め、横ばいで推移。
- ◆ R1年の他車に起因する事故16件のうち、3件は自転車によるもの（すべて歩道から車道への急な飛び出し）。

2. 負傷者の数（年推移）

発生年（暦年）	H26	H27	H28	H29	H30	R1
重傷（人）	9	17	6	10	8	6
軽傷（人）	92	76	51	51	67	61

- ◆ 負傷者の発生人数は軽傷重傷いずれも横ばいで推移。

3. 負傷者の年齢構成（令和元年）

年齢	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～	不明
負傷者数	17	1	8	7	9	2	23
(65歳以上計): 27							

- ◆ 高齢者の負傷者が比較的多い一方、65歳未満の負傷者も17件発生しており、負傷者全体の約25%を占める。

4. 事故の類型（令和元年）

類型	立席	着座→立席 立席→着座	着座	乗・降車
発生件数	23	14	23	7

- ◆ 事故類型は立席及び着座から立ち上がる、あるいは着座しようとする時が計37件と最も多いが、一方で着座中の負傷も23件と多く発生している。

バス車内事故強化月間啓発素材

管内の各運輸支局を通じ、関係機関、集客施設へポスター・チラシ等を配布するなどして啓発への協力を依頼します。

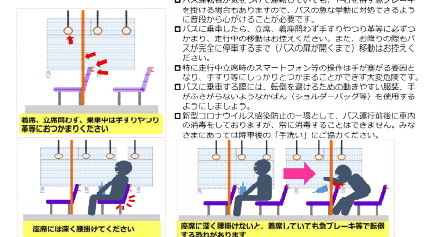
チラシ・ポスター用 図案

バスが動いているときは動かないでください!!!

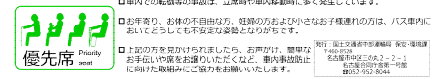


経路	92	76	51	51	67	61
乗車者数	17	1	1	1	1	23
乗車者数(65歳以上)	17	1	1	1	1	23

バス走行中は手すり等にしっかりおつかまりください。立席時のスマホ等の操作は大変危険です！



お年寄りやお体の不自由な方、妊婦の方、小さなお子様連れの方に席をお譲りください。



電光掲示板用 図案 (大型スクリーン等)

無理な割り込みはバスの車内事故につながります!!!



バス車内事故防止にご協力ください
7月は「バス車内事故防止月間」です

電光掲示板への表示 (蒲郡競艇場 昨年度)



